

償還 運用報告書(全体版)

繰上償還

(償還日 2017年2月21日)

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	単体型投信／国内／株式
信 託 期 間	2006年9月25日から 2017年2月21日(繰上償還)まで
運 用 方 針	主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ(比較的短期間で株式公開等が予想される段階)の未公開会社への株式投資を行い、株式公開やM&A等による値上がり益(キャピタルゲイン)を追求します。
主 要 運 用 対 象	わが国の未上場株式を主要投資対象とします(投資した未上場株式が公開し、上場株式となったものを含みます)。また、外国の未上場株式に投資することがあります。
組 入 制 限	同一銘柄の株式への投資は、取得時において純資産総額の30%以内とします。
分 配 方 針	毎決算時に、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます)等の金額の範囲から収益配分方針に基づいて分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

 **SBI** Asset Management

トランスサイエンス 未公開株ファンド

単体型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「トランスサイエンス未公開株ファンド」は、2017年2月21日に繰上償還させていただきました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額（1口当たり）			受益者 利回り	株式組入 比率	有限責任組合 出資持分 組入比率	元本 残存率	
	税込 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率					
（設定日） 2006年9月25日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	% -	% -	% -	% 100.0	
1期(2007年9月25日)	9,176	0	△ 824	△ 8.2	△ 8.2	51.4	-	99.9
2期(2008年9月24日)	5,216	0	△3,960	△ 43.2	△ 23.9	16.3	62.7	99.9
3期(2009年9月24日)	4,897	0	△ 319	△ 6.1	△ 17.0	17.7	63.7	97.5
4期(2010年9月24日)	4,313	0	△ 584	△ 11.9	△ 14.2	11.6	69.9	97.5
5期(2011年9月26日)	3,993	0	△ 320	△ 7.4	△ 12.0	12.1	70.5	74.5
6期(2012年9月24日)	3,916	0	△ 77	△ 1.9	△ 10.1	12.4	72.7	74.4
7期(2013年9月24日)	3,948	0	32	0.8	△ 8.6	0.0	81.9	74.4
8期(2014年9月24日)	3,851	0	△ 97	△ 2.5	△ 7.7	-	92.5	67.5
9期(2015年9月24日)	3,741	0	△ 110	△ 2.9	△ 7.0	-	95.1	67.5
10期(2016年9月26日)	3,634	0	△ 107	△ 2.9	△ 6.4	-	97.9	67.4
（償還時）	（償還価額）							
11期(2017年2月21日)	3,803.10	-	169.10	4.7	△ 6.0	-	-	67.4

（注1）当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注2）株式組入比率は純資産総額に対する未公開株式合計の評価額の比率です。

（注3）有限責任組合出資持分組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額（1口当たり）		有限責任組合 出資持分 組入比率
		騰落率	
（期首） 2016年9月26日	円 銭 3,634	% —	% 97.9
9月末	3,632	△ 0.1	97.9
10月末	3,827	5.3	98.2
11月末	3,818	5.1	98.5
12月末	3,810	4.8	—
2017年1月末	3,808	4.8	—
（償還時） 2017年2月21日	（償還価額） 3,803.10	4.7	—

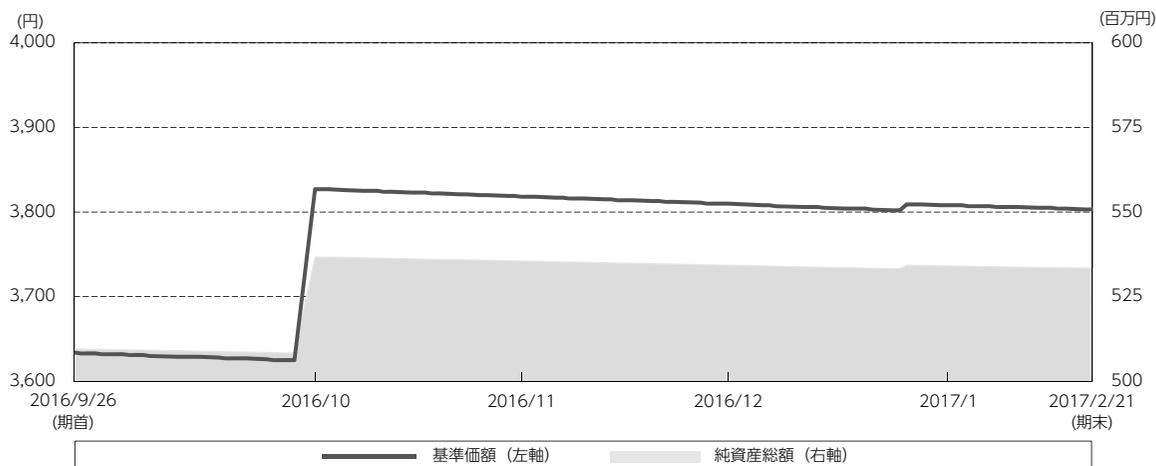
（注1）騰落率は期首比。

（注2）当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注3）有限責任組合出資持分組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

■運用状況及び投資環境

○基準価額等の推移



期 首：3,634円
期末(償還日)：3,803円10銭
騰 落 率： 4.7%

(注1) 当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、期初は信託報酬等の費用計上により緩やかな下落基調で推移したものの、組合を通じて保有していたSBIバイオテックを売却したことにより、上昇して期末（償還日）を迎えました。当期の基準価額の騰落率は+4.7%の上昇となりました。

○設定来の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイトーステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場や M&A 等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

直接投資または組合を通じて組入れた未公開株式の売却益など

下落要因

直接投資または組合を通じて組入れた未公開株式の評価損失や売却損失、信託報酬の支払いなど

○設定来の投資環境

2007年以降の新規株式公開（IPO）市場は、金融商品取引法施行及びその対応に伴う内部統制の強化に加えて、証券取引所の上場審査の厳格化、監査法人の保守的な会計監査などを背景に、上場のハードルが急速に高くなりました。

2008年9月のリーマン・ショックにより、IPO市場における公開企業数が急減するとともに、上場するバイオ関連企業の時価総額も低迷しました。上場バイオベンチャーの時価総額の低迷は、非上場のバイオベンチャー企業の資金調達にも影響を及ぼしました。IPOを出口戦略としていたベンチャーキャピタル等からのリスクマネーの供給が減少する中、研究開発や臨床試験など先行投資が必要なバイオ関連企業は資金調達難に陥りました。特に、リーマン・ショック前後に起きた投資資金の回収加速に伴う資金繰り悪化により、非上場のバイオベンチャーは資金繰りに窮した結果、事業停止や清算を余儀なくされました。

2011年以降は、徐々にIPO市場における公開企業数が増加に転じたものの、バイオ関連企業のIPOは増加がみられませんでした。

2014年以降は、大企業がベンチャー企業に出資するコーポレートベンチャーキャピタルや個人から資金を調達するクラウドファンディングなど資金調達手段が多様化したものの、バイオ関連企業への投資は低迷しました。そのため、新規株式公開（IPO）全体に占めるバイオテクノロジー、ヘルスケア関連企業等の影響は限定的なものとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは2006年9月25日に設定し、直接投資または組合出資を通じた間接投資により、国内外のバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開株式8銘柄を組入れて運用を行いました。

【第1期】（2006年9月～2007年9月）

2006年9月に「アールアンドアール株式会社」（代表者 松石 哲郎）に2億3,991万円、「株式会社日本メディカル総研」（代表者 福島 芳己）に4億5,240万円の投資を実行しました。また、同年11月に「株式会社フューエンス」（代表者 井上 浩三）に7,995万円の投資を実行しました。

2007年2月に「株式会社ペプタイトドア」（代表者 鈴木 正嗣）に1,500万円、「テムリック株式会社」（代表者 稲垣 哲也）に1億3万円の投資を実行しました。また、同年3月に「株式会社オキシジェニクス」（代表者 大村孝男）に8,000万円、「メビオフィーム株式会社」（代表者 藤澤 忠司）に7,500万円の投資を実行しました。

【第2期】（2007年9月～2008年9月）

2008年3月にTSI1号投資事業匿名組合に6億7千万円出資を行い、匿名組合経由でクオーク・ファーマシューティカルズを購入しました。

同年5月には日本メディカル総研が全事業を中止し清算に向けた手続きを開始し、株主への残余分配財産がなかったことから、評価を1株3,988円から1円に引き下げ、同年8月に1株1円で全株売却しました。

同年6月にはオキシジェニクスが平成20年6月13日付で東京地方裁判所に対し破産手続の申立てを行い、6月25日に破産手続きが開始されたことから、同社株式を6月27日に1株1円で全株売却しました。

【第3期】(2008年9月～2009年9月)

2009年6月23日の臨時株主総会にて、アールアンドアールの清算結了が決議され、清算代金として約730万円を受け取りました。

【第4期】(2009年9月～2010年9月)

未公開株式の売買はありませんでした。

【第5期】(2010年9月～2011年9月)

メビオファーム株式会社が2011年7月15日にTOKYO AIM市場に新規上場したことから、全株売却しました。

【第6期】(2011年9月～2012年9月)

未公開株式の売買はありませんでした。

【第7期】(2012年9月～2013年9月)

2012年9月28日にペプタイドドアを全株売却しました。

2012年10月26日にテムリックを全株売却しました。

組合で保有していたクオーク・ファーマシューティカルズの優先株は普通株に転換後、2012年12月のSBIバイオテックによるクオーク・ファーマシューティカルズの完全子会社化に伴い、SBIバイオテックの普通株式に株式交換されました。

【第8期】(2013年9月～2014年9月)

2013年10月10日、同年11月11日、同年12月25日の3回に分けてフューエンスを全株売却しました。

【第9期】(2014年9月～2015年9月)

未公開株式の売買はありませんでした。

【第10期】(2015年9月～2016年9月)

未公開株式の売買はありませんでした。

【第11期】(2016年9月～2017年2月)

2016年10月28日に組合で保有していたSBIバイオテックを全株売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ(比較的短期間で株式公開等が予想される段階)の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益(キャピタルゲイン)を追求するファンドであり、ベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○1口（元本10,000円）当たりの費用明細

（2016年9月27日～2017年2月21日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	33 (24) (8) (1)	0.876 (0.622) (0.219) (0.035)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 （その他）	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	33	0.878	
期中の平均基準価額は、3,779円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しております。

（注4）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注5）各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2016年9月27日～2017年2月21日）

該当事項はありません。

○株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2016年9月27日～2017年2月21日）

該当事項はありません。

○主要な売買銘柄

(2016年9月27日～2017年2月21日)

該当事項はありません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月27日～2017年2月21日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年2月21日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2017年2月21日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	538,016	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	538,016	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年2月21日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	538,016,594円
コール・ローン等	538,016,594
(B) 負 債	4,631,593
未払信託報酬	4,630,119
未払利息	1,474
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	533,385,001
元 本	1,402,500,000
償 還 差 損 金	△ 869,114,999
(D) 受 益 権 総 口 数	140,250口
1口当たり償還価額(C/D)	3,803円10銭

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額 1,402,500,000円
期中一部解約元本額 0円

○損益の状況 (2016年9月27日～2017年2月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 100,869円
支 払 利 息	△ 100,869
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,517,057
売 買 益	35,863,919
売 買 損	△ 7,346,862
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,638,167
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	23,778,021
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 892,893,020
償 還 差 損 金 (D + E)	△ 869,114,999

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年 9 月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年 2 月21日		資産総額	538,016,594円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	4,631,593円
				純資産総額	533,385,001円
受益権口数	207,840口	140,250口	△67,590口	受益権口数	140,250口
元本額	2,078,400,000円	1,402,500,000円	△675,900,000円	1口当たり償還金	3,803.10円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,077,900,000円	1,906,690,780円	9,176円	0円	0.0000%
第2期	2,077,900,000	1,083,778,105	5,216	0	0.0000
第3期	2,027,900,000	993,094,706	4,897	0	0.0000
第4期	2,026,900,000	874,258,807	4,313	0	0.0000
第5期	1,550,200,000	618,976,412	3,993	0	0.0000
第6期	1,548,200,000	606,221,299	3,916	0	0.0000
第7期	1,548,200,000	611,245,138	3,948	0	0.0000
第8期	1,403,500,000	540,494,579	3,851	0	0.0000
第9期	1,403,500,000	525,096,099	3,741	0	0.0000
第10期	1,402,500,000	509,606,980	3,634	0	0.0000
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				△6,196円90銭	△5.9522%

○償還金のお知らせ

1口当たり償還金(税込み)	3,803円10銭
---------------	-----------